



平成19年11月29日

各 位

会 社 名 株式会社 ソキア
代表者名 代表取締役社長 伊 藤 仁
(コード番号 7720 東証第1部)
問合せ先 執行役員 本社機能担当
大川 雄一
(TEL 046 - 248 - 0068)

(訂正)平成20年3月期 中間決算短信の一部訂正について

平成19年11月14日に公表いたしました「平成20年3月期 中間決算短信」の一部に訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、訂正箇所は下線を付して表示しております。

記

1 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

(当中間期の経営成績) (3ページ)

<修正前>

事業の種類別セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

測量機事業

昨年10月にリリースした自動追尾型トータルステーション「SRX(エス・アール・エックス)」が各先進地域で評価され販売増に大きく貢献し、主力製品群であるトータルステーションの売上が増加、またGPS製品関連では、機能追加及び関連ソフトウェアの強化を図った結果、北米を中心に売上増加に寄与いたしました。その結果、事業全体といたしましては、国内市場では引き続き厳しい状況で推移し、減収傾向が継続いたしました。海外市場全体で大きく売上を伸ばし、売上高は111億1千3百万円(前中間連結会計期間比114.5%)、営業利益は18億7千6百万円(前中間連結会計期間比116.4%)と増収・増益の結果となりました。

計測機事業

台湾を中心とした液晶等のFPD(フラットパネルディスプレイ)業界の製造設備投資の縮小及び延期の影響により、売上高は6億7千3百万円(前中間連結会計期間比43.0%)と大幅な減収結果となりました。また、収益面でも、販売費及び一般管理費の縮小に努めましたが、売上高減少による影響には及ばず、営業損失1億9千2百万円(前中間連結会計期間は営業利益3千1百万円)の結果となりました。

<修正後>

事業の種類別セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

測量機事業

昨年10月にリリースした自動追尾型トータルステーション「SRX(エス・アール・エックス)」が各先進地域で評価され販売増に大きく貢献し、主力製品群であるトータルステーションの売上が増加、またGPS製品関連では、機能追加及び関連ソフトウェアの強化を図った結果、北米を中心に売上増加に寄与いたしました。その結果、事業全体といたしましては、国内市場では引き続き厳しい状況で推移し、減収傾向が継続いたしました。海外市場全体で大きく売上を伸ばし、売上高は111億1千3百万円(前中間連結会計期間比114.5%)、営業利益は18億5千5百万円(前中間連結会計期間比115.1%)と増収・増益の結果となりました。

計測機事業

台湾を中心とした液晶等のFPD(フラットパネルディスプレイ)業界の製造設備投資の縮小及び延期の影響により、売上高は6億7千3百万円(前中間連結会計期間比43.0%)と大幅な減収結果となり

ました。また、収益面でも、販売費及び一般管理費の縮小に努めましたが、売上高減少による影響には及ばず、営業損失 1 億 7 千 2 百万円（前中間連結会計期間は営業利益 3 千 1 百万円）の結果となりました。

4 中間連結財務諸表

(7) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当中間連結会計期間(自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 9 月30日) (32ページ)

< 修正前 >

	測量機事業 (千円)	計測機事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	11,113,867	673,075	11,786,942		11,786,942
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	11,113,867	673,075	11,786,942		11,786,942
営業費用	<u>9,237,436</u>	<u>865,950</u>	10,103,387	632,640	10,736,028
営業利益又は営業損失()	<u>1,876,431</u>	<u>192,875</u>	1,683,555	(632,640)	1,050,914

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

(1) 測量機事業・・・トータルステーション、GPS、自動レベル、測量システム他

(2) 計測機事業・・・二次元座標測定機他

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、632,640千円であり、その主なものは、当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

< 修正後 >

	測量機事業 (千円)	計測機事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	11,113,867	673,075	11,786,942		11,786,942
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	11,113,867	673,075	11,786,942		11,786,942
営業費用	<u>9,258,282</u>	<u>845,105</u>	10,103,387	632,640	10,736,028
営業利益又は営業損失()	<u>1,855,585</u>	<u>172,030</u>	1,683,555	(632,640)	1,050,914

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

(1) 測量機事業・・・トータルステーション、GPS、自動レベル、測量システム他

(2) 計測機事業・・・二次元座標測定機他

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、632,640千円であり、その主なものは、当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。